

当日の活動例(雨)

< 日程 >

- 10:00 ビジターセンター集合
- 11:00 覚満淵散策
- 12:00 ビジターセンターにて解散
- 13:00 国立赤城青少年交流の家でお弁当
- 14:00 かなな箸作り

学習活動

- (2) 覚満淵散策とビジターセンター見学を行う。
- ・覚満淵では植生と自然保護についての話を聞く。
 - ・森林の役割について講師の話を聞く。
 - ・ビジターセンターで赤城山に関する調べ学習をする。



覚満淵散策の様子

事後の活動例

教科等: 総合(第5学年)

時間数: 3~4時間扱い

1. 目標

- 学習したことをもとに、国土や赤城山の環境保全について自分たちにできることなどを考え、レポートや新聞などにまとめることができる。

2. 学習活動

- (1) 森林を守るための取り組みや、活動を通して考えが深まった点、これからの生活に生かしていきたい点などを新聞にまとめる。
- (2) 新聞を読み合い、友達と交流することで自分の考えを深める。

山と水のつながり		赤城山の自然の新聞
私たちは9月25日(金)に赤城山へ行って赤城の自然を学びました!		
山と水のつながり		
赤城山にはたくさんの水があります。赤城山は前橋で一番高い山なので、水がおさまります!		
赤城山にはぬまが2つあって、大ぬまと小ぬまに分かれています。2つのぬまができたのは、ふん火した後にたくさんの水がたまって、大ぬまと小ぬまができたそうです。		

児童の事後学習作品例

赤城山での学習後に新聞作成をしましたが、覚満淵散策などの体験活動を行ったことで環境保護や動植物の植生など、意味を理解した内容を書くことができ、子どもたちの変容を感じることができました。

担任の先生からのコメント

登山時の服装

- 帽子
- 靴下
- 登山用の靴(運動靴でも可)
- 速乾性Tシャツ※
- 長袖シャツ
- 長ズボン
- リュックサック
- 防寒着
- 雨具(セパレートタイプ)

※綿素材は雨などで濡れると体温が奪われます。



登山など屋外活動をする上での注意事項

- 水分補給をこまめに行う。
- カロリー補給をこまめに行う。
- 防風、防寒対策をする。
- 計画はゆとりのある日程にする。
- 石が落ちてしまったら、大きな声で下の人に「落石!」、または「らく!」と叫ぶ。
- 危険を伴う活動ということを自覚する。転倒などが大きなけがにつながる。

